

患者さんパンフレット

四国がんセンター
泌尿器科



私たち医療スタッフは

- I. 入院や治療に対する不安を軽減し、最良の状態で治療が受けられるようにお手伝いいたします

- II. 治療後の苦痛を軽減し、合併症を起こさず順調に回復され安心して退院を迎えられるようお手伝いいたします



前立腺がん小線源療法 を受けられる方へ

さま

担当医

受け持ち看護師

2004年10月1日 作成
2024年3月19日 改定

治療当日までに準備していただきたいこと

- 他の病院で処方され、現在服用している薬がある方は、入院時に必ずお持ちください（入院中は原則、他の病院の受診ができないため、入院期間を含め余裕をもってお持ちください）
- **お薬手帳をお持ちの方は、入院時に必ずお持ちください**
- サプリメントを飲んでいる方は必ずお申し出ください
- 爪は短く切っておいてください

<以下のものは病院で貸し出し、購入もできます>

- 衣類（パジャマタイプ/ゆかたタイプ）
- バスタオル 1枚
- フェイスタオル
- ティッシュペーパー 1箱
- 紙おむつ（マジックテープ式） 1枚
- コップ、曲がるストローまたは吸い飲み

「CSセットのご案内」冊子を
参考にしてください

「入院される方へ」の
パンフレットを
参考にしてください

<ご自宅からお持ちください>

- 500mlペットボトル（水もしくは茶）

※同意書がお手元にある方は忘れずお持ちください



《入院中のお部屋について》

治療当日～翌日尿の管が抜けるまでは、周囲への放射線被ばく防止のため、個室の入院が必要です

治療当日・翌日の個室料は、不要となります

医療品ショップ くろ～ば～

場所 2階 中央処置室前
営業時間 8：30～17：00
定休日 土・日・祝日・年末年始
電話 (089) 999-1129



ダイアリー

このパンフレットには、当院での標準的な治療や日常生活で注意していただきたいポイントなどを記載しています

また、よりよい状態で退院を迎えられるよう患者さんご自身の目標と医療スタッフの目標をあげています

入院期間は、約3日の予定です

治療後の経過には個人差があり、体の状態によっては予定どおりにすすまないこともあります。その都度対応していきますので、ご安心ください

私たち医療スタッフは、これからの入院生活を不安なく送れるようにサポートさせていただきます





今日の目標

- ・入院生活、治療について医療スタッフの説明が理解できる

<時間>	<予定>
11:00	入院 【入院後に以下のことを予定しています】 ・看護師から病院内、病棟内、入院生活の説明（テレビの病院案内も参考にしてください）
12:00	昼食 ・検温、血圧測定、身体測定 ・連絡先、既往歴、生活習慣などの聞き取り ・尿流量検査（泌尿器科外来で行います） ・医師より手術の説明があります ご家族の方も一緒に説明をお聞きください ・説明を聞いた後、納得し同意できれば同意書にサインをし、看護師にお渡しください ・午前入院の場合は昼食から提供します ・わからないことやもう少し詳しく説明を聞きたいことなどが ありましたら、遠慮なくお尋ねください
	<活動> ・活動に制限はありません
	<食事> ・食物アレルギーのある方は医療スタッフにお知らせください ・特に制限はありません ・基礎疾患（糖尿病・高血圧等）がある方は、治療食になる 場合があります ・21時以降は絶食です ・21時頃に安定剤（睡眠剤）を服用することができます ・水分は治療開始6時間前（翌朝8:00）まで摂取できます
18:00	夕食 <排泄> ・便秘気味の方は看護師にお知らせください
	<お薬> ・他の病院で処方されたお薬は、一度お預かりします 医師に確認後、続けるか、中止するかをお伝えします ・眠れない場合は安定剤を服用することができます
21:30	消灯

医療スタッフの目標

- ・安心して入院生活が送れるよう支援します
- ・治療の準備がすすめられるよう支援します





治療前の目標

- ・ 予定どおりに治療を受けることができる

- ・ 飲水は治療開始6時間前（8：00頃）までです
- ・ 治療開始時間が変更になる場合があります
その場合は絶飲食の時間が変更になるため説明いたします

<時間>

<予定>

6：00

絶食

起床

検温、血圧測定

指示された薬剤がある方は服用してください

薬剤名（ ）

9：30

浣腸をします

10：00

検温、血圧測定

点滴を行います

治療30分
～1時間前

お渡しする**手術衣**に着替えます

安全に治療を行うために以下のものは全て外してください

	<input type="checkbox"/> 入れ歯		<input type="checkbox"/> 腕時計
	<input type="checkbox"/> コンタクトレンズ		<input type="checkbox"/> イヤリング・ピアス
	<input type="checkbox"/> 磁気製品・湿布		<input type="checkbox"/> ネックレス
	<input type="checkbox"/> かつら・ウィッグ		<input type="checkbox"/> 指輪
	<input type="checkbox"/> お化粧		<input type="checkbox"/> ブレスレット
	<input type="checkbox"/> つけまつげ		<input type="checkbox"/> ヘアピン
	<input type="checkbox"/> マニキュア		<input type="checkbox"/>

※眼鏡をかけて治療室へ行く場合は、眼鏡ケースをご準備ください
検温、血圧測定

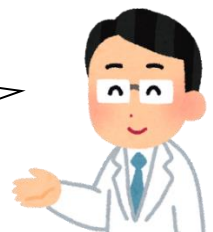
13：55

看護師と一緒に車椅子で治療室まで行きます

※貴重品は、ご家族の方が保管してください

医療スタッフの目標

- ・ 予定どおりに治療が受けられるよう支援します





治療後の目標

- ・症状を我慢せず、医療スタッフに伝えることができる

治療開始時間（ ： ）

- ・ベッドに座った状態で腰椎麻酔を行い、10分はそのままの体勢です
- ・治療は仰向けで足を広げた姿勢で行います
- ・治療中は血圧計、心電図モニター、酸素濃度測定器を装着し、尿の管が入ります
- ・超音波の機器を肛門より挿入し、位置合わせ後、線源を挿入します

治療終了後、ストレッチャーで病室へ戻り、以下のことを行います

検温、血圧測定、状態観察

- ・帰室時、帰室後15分、30分、1時間、2時間、4時間に行います（これ以外も必要なときに測定します）

活動

- ・頭痛予防のため、頭を上げないようにしましょう
- ・病衣を前後逆に着ているため、着替えをします

点滴

- ・翌朝まで食べることができないため、引き続き点滴を行います
- ・帰室後、水分摂取はできます

治療後の傷

- ・傷口にはガーゼをあてています
- ・出血がなければ、翌日ガーゼを外します

痛み

- ・痛み（尿の管による不快感や下腹部の痛みなど）を我慢する必要はありません
- ・痛みが強い場合は、追加で痛み止めを使います

尿の管

- ・翌日、尿をとる管を抜きます

医療スタッフの目標

- ・治療後の合併症の早期発見に努めます
- ・床ずれの予防に努めます



ご家族の方へ

治療後から尿の管が抜けるまで、この病室は放射線管理区域に指定されます

- *入室時は病室の前にあるポケット線量計を装着してください
 - 入室前にポケット線量計の数字、時間を確認します
 - 病室内では必ずポケット線量計を装着しておいてください
- *退室時は退室時刻とポケット線量計の数字を確認してください
 - 入室前と比較して数字が増えているようでしたら、差し引いた数字が線量計値になります
 - 数字が増えていないようでしたら、線量計値は「0」になります

以上のことを病室前に置いている『一時的管理区域に関わる記録』に記載してください

《記載例》

立入日	入室時刻	退室時刻	目的	所属	氏名	線量計値	備考
10/15	15:30	15:45	面会	家族	四国花子	0 μSv	
/	:	:				μSv	

*入室は最小限に留めてください

例) 入室前 123 入室後 123の場合 ⇒ 0 μSv
入室前 123 入室後 124の場合 ⇒ 1 μSv

治療後に説明いたしますが、わからないことがあれば、いつでも医療スタッフにお声かけください

治療中は、必ず、
院内でお待ちください



治療後1日目 月 日



今日の目標

- 排尿時の痛みや尿の出にくさがない
- 血尿スケールが比色2以下である
- 日常生活の注意点について理解できる

<時間>

<予定>

6:00

起床
検温、血圧測定

尿がたくさん出るように
水分を1500~2000ml/日
とりましょう

7:30

朝食（全粥）
ベッド上で座って食事をします（看護師がお手伝いします）
普段飲んでいる薬を服用します
本日より尿をスムーズに出すための薬（14日分）と抗菌薬（7日分）
を服用します

9:00

車椅子で検査（胸・腹部レントゲン、CT）に行きます
検査後問題なければ、尿の管を抜きます
（最初の尿は看護師に見せてください）
状態によっては抜けないこともあります
管が抜けたら、排尿日誌を書きましょう（最終ページ）
最初に歩くときは看護師が付き添います

10:00

検温、血圧測定
点滴が終了したら、針を抜きます

退院後の日常生活に
ついて説明します

12:00

昼食（常食）

14:00

検温、血圧測定
尿の管を抜いた後、膀胱内に尿が残っていないかエコー検査をします
尿が出たら、看護師に声をかけてください
シャワー浴または体を拭きます（看護師がお手伝いします）

尿が出にくい、排尿時に違和感があるなど症状が出現することが
ありますが、膀胱内に尿が残っていないければ心配ありません

18:00

夕食（常食）

排尿日誌は、毎日記入しましょう
※排尿日誌は、退院日の朝に一度、
看護師に提出してください

19:00

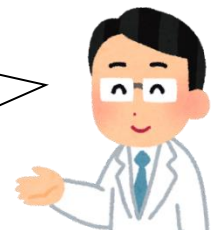
検温、血圧測定

21:30

消灯

医療スタッフの目標

- 治療後の合併症の早期発見に努めます
- 床ずれの予防に努めます



尿の管が抜けた後の注意すべき症状

- 血尿が濃くなる
- 血の塊が出る
- 尿が出にくい
- 残尿感がある
- 下腹部が張る

などの症状があるときは、看護師または医師にお伝えください

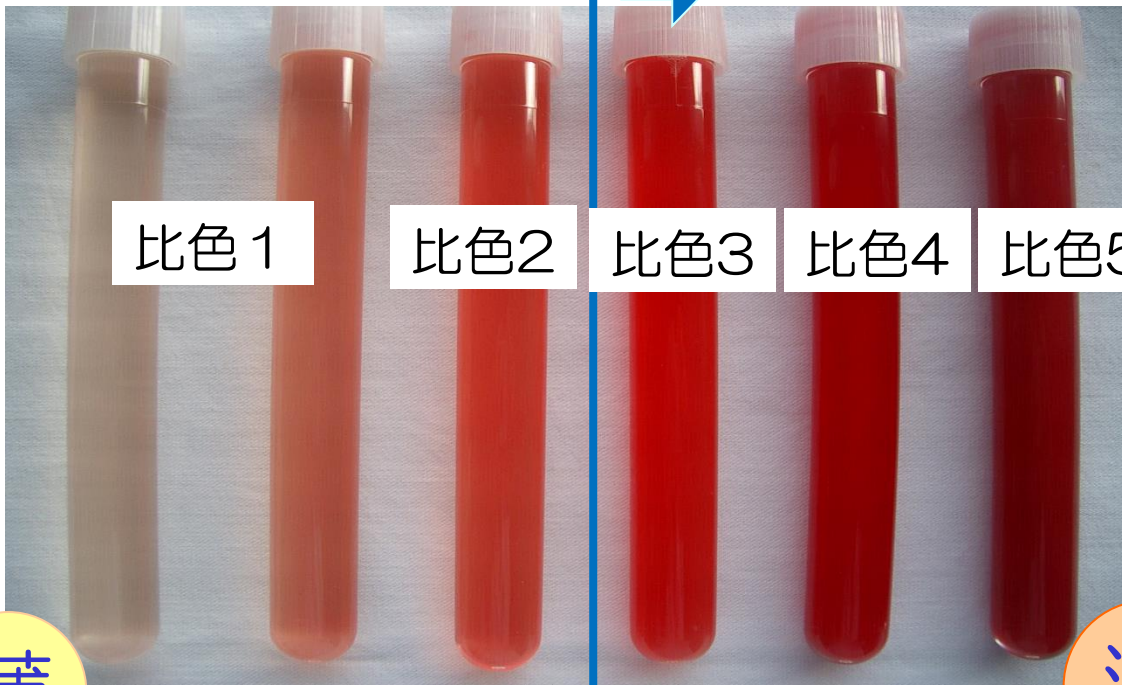
血尿が濃くなった場合、
カップをお渡ししますので
血尿の程度を確認してみましょう

血尿の濃さについてお聞きします
下の表を参考に、血尿の濃さ
をお伝えください



※**比色3以上**になったら
看護師に知らせてください

血尿スケール



比色1

比色2

比色3

比色4

比色5

薄

濃

MEMO

気になることや症状などを書き留めておきましょう



今日の目標

- ・日常生活の注意点について理解できる
- ・退院できる

<時間>	<予定>
6:00	起床 検温、血圧測定
7:30	朝食（常食） 回診 医師の回診後、退院が決定します
10:00	退院 退院前に忘れ物がないようご確認ください

排尿日誌は、毎日記入しましょう
※排尿日誌は、退院日の朝に一度、
看護師に提出してください

尿がたくさん出るように
水分を1500~2000ml/日
とりましょう

「入院診療費料金連絡票」を病室にお届けします
2階窓口でお支払終了後、病棟まで連絡票をお持ちください
お預かりしている薬、退院の薬がある場合はお渡しします
次回外来予約票をお渡しします

退院は回診の結果で延期になることがあります
退院時間をご相談ください
看護師から退院後の日常生活について説明します
「退院後の日常生活について」ページ参照
地域医療連携を行う場合、私のカルテに沿って今後の予定を説明します

次回外来受診は

月 日（ ）時の予定です

* 外来受診時に検査のある場合は、事前に医師から説明があります

医療スタッフの目標

- ・退院後の日常生活に不安がないよう支援します



退院後の日常生活について

■排泄

退院後もしばらく血尿や排尿時痛が続く場合があります
規則的な排便習慣をつけることが大切です

朝食後、トイレに行く習慣をつけましょう

便秘気味の方は、退院までに医療スタッフと対処方法について相談しておきましょう

■食事

水分摂取は1日2000mlを目標にしましょう

制限はありません

バランスのよい食事をとるようにしましょう



■活動

規則正しい生活を行い、適度な運動をしましょう

性行為は治療後4週間以降で可能です

ただし、精液中に線源が出てくる可能性があるため、治療後1年間はコンドームをつけるようにしましょう

活動について迷うことがあれば、医療スタッフにご相談ください

■入浴

今までどおりでかまいません



■お薬

尿の薬、抗菌薬は医師の指示どおりに服用してください

他の病院の薬を服用する場合は、医師に相談してください

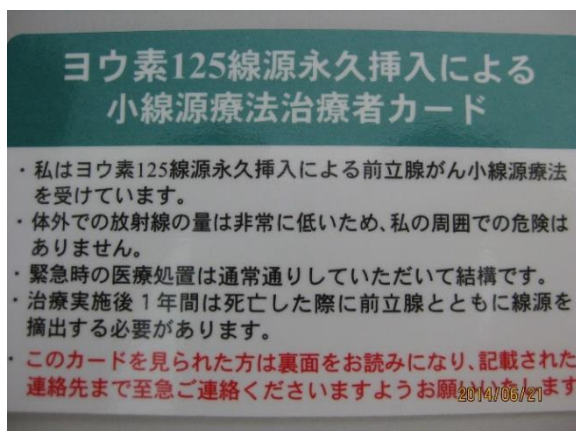
■線源について

脱落線源を確認したときには、拾えるようならスプーンやお箸などを使って拾い
脱落線源ケースに入れ、担当医に連絡してください

医師より渡された『小線源療法治療者カード』は、治療後1年間は携帯するように
しましょう

放射線量が半減するまでの2か月間は小さい子どもを膝に抱いたり妊婦との接触は
避けてください（車の同乗や同室で過ごすことは問題ありません）

1年たてば周囲への影響を気にする必要はなくなります



排尿日誌

診察券番号 _____

(朝 10:00 ~ 翌朝 10:00 までを1日分とします)

氏名 _____

例

日付	尿回数	尿が 出にくい	残尿感	下腹部の 張り	尿道の 痛み	血尿 スケール	飲水量
4/7	正一	×	×	○	×	比色2	500 200
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							
/							

※退院日の朝に看護師に提出してください
コピーをして、冊子をお返しします



- 脱落線源を確認したとき
- 38.0℃以上の熱が数日続くとき
- 水分摂取に関わらず排尿ごとに血尿が濃くなったとき

上記のような症状がある場合やその他ご心配なことがある場合は、
がん相談支援センターにご連絡ください

◆四国がんセンターの連絡先◆

【平日】 8:30~17:15
四国がんセンター がん相談支援センター
(直通番号) 089-999-1114

【平日上記時間外および土・日・祝日】
日直/夜間当直師長
(代表番号) 089-999-1111

* 外来受診日や検査予約日の変更については、
予約センターにご連絡ください

【平日】 8:30~17:15
(直通番号) 089-999-1112



前立腺がん小線源療法を受けられる方へ